

Vシリコン#200マイル中塗

1.一般名 弱溶剤アクリルシリコン樹脂塗料用中塗塗料

2.規格表示等

2-1.規格表示 JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種 中塗り塗料

2-2.ホルムアルデヒド放散等級分類記号 F☆☆☆☆

3.特長

- 1)弱溶剤使用のため、臭気等も少なく、塗装作業環境を改善できる。
- 2)弱溶剤形シリコン樹脂上塗との付着性に優れる。
- 3)塗装作業性に優れる。

4.塗料性状^{※1}

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	18kgセット(主剤16.2kg・硬化剤1.8kg) 4kgセット(主剤3.6kg・硬化剤0.4kg)			
色相	各色			
光沢	つや消し			
密度 (23°C)	塗料	1.40~1.60(白)		
	揮発分	0.80		
加熱残分	65~75%(白)			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	2時間	1時間	40分
	半硬化	12時間	6時間	4時間
標準膜厚	30 μm/回			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

※1上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

※2エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やしてください。

6.施工上の注意

- 1)十分攪拌し均一な塗料状態にしてから塗装する。
- 2)希釈は必ず指定された希釈剤を使用する。
- 3)使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を發揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 4)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 6)余り塗装間隔が長くなると、密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねを終了するようにする。尚、規定時間以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、さらにウエスにて拭いて調整してから塗装する。

8.使用上の注意[警告]

- 1.引火性の液体である。
- 2.有機溶剤中毒の恐れがある。
- 3.健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器ラベルに表示

5.塗装基準

項目	内容			
下地処理	素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し乾燥した清浄な面とする。			
調合法	主剤90部：硬化剤10部(重量比)			
熟成時間	-			
可使時間	5°C:12h	20°C:6h	30°C:4h	
塗装方法	刷毛、ローラー、スプレー			
希釈剤	塗料用シンナー又は塗料用シンナーA			
塗 装 法	塗装方法	刷毛、ローラー	エアレス ^{※2}	
	希釈率	5~10%	5~15%	
	標準使用量	0.12kg/m ² /回	0.16kg/m ² /回	
	標準膜厚	30 μm/回		
	ウエット管理膜厚	-		
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	12時間
	最大	14日	7日	7日

注)標準使用量は実測値に基づき算出しています。
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

7.関連法規則

危険物表示	主剤：指定可燃物 硬化剤：第2石油類
有機溶剤区分	主剤・硬化剤：第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	-